

経営比較分析表（令和元年度決算）

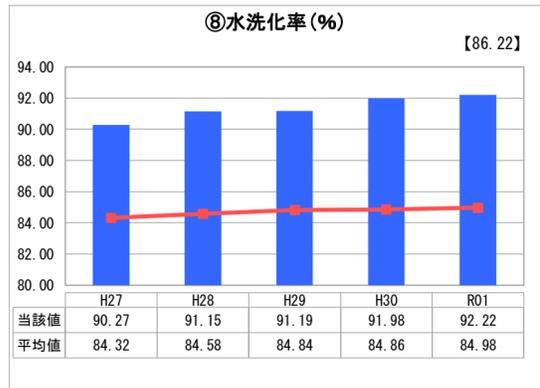
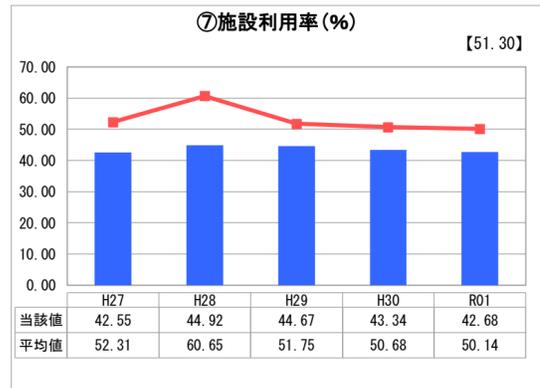
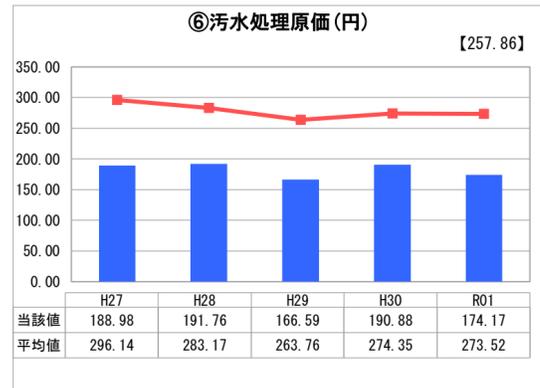
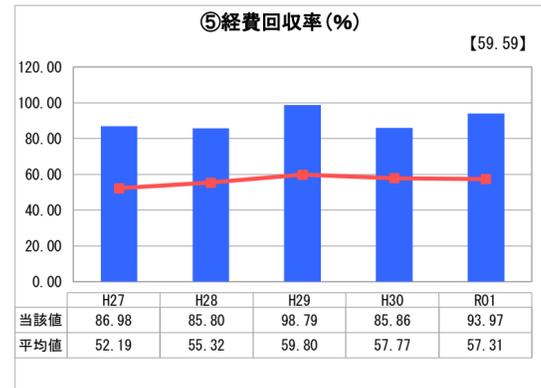
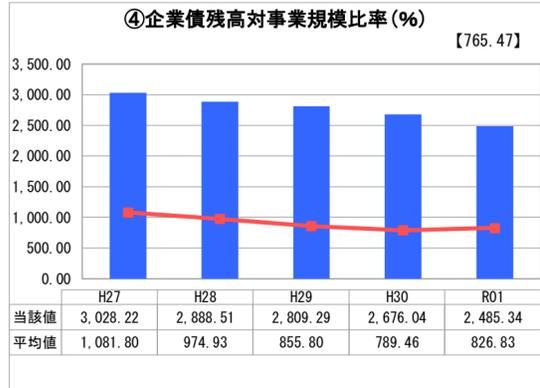
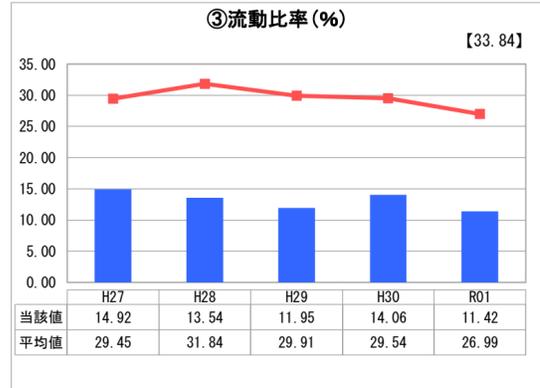
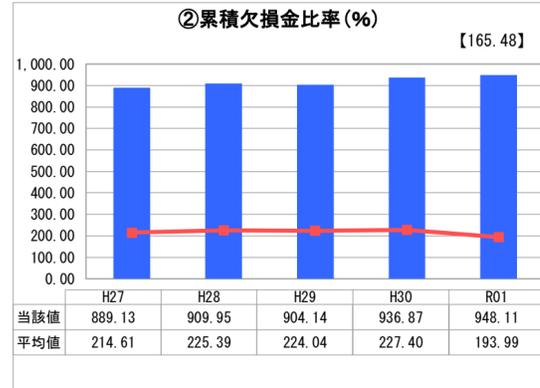
兵庫県 加東市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 43.19 | 7.71 | 94.03 | 3,146 |

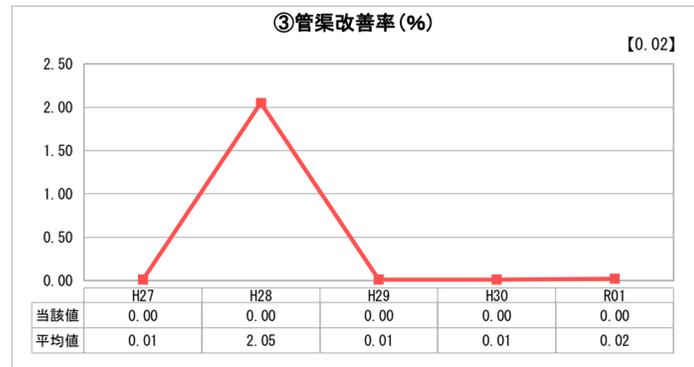
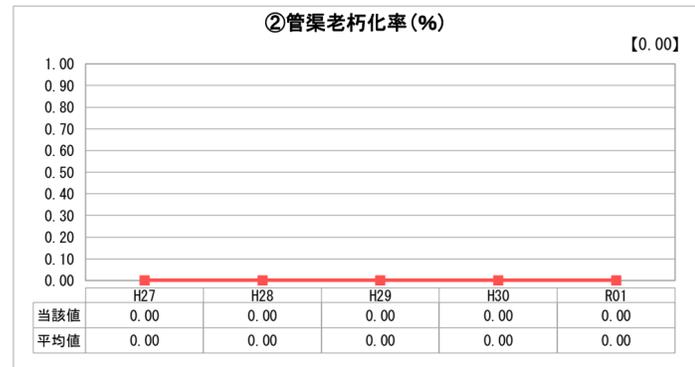
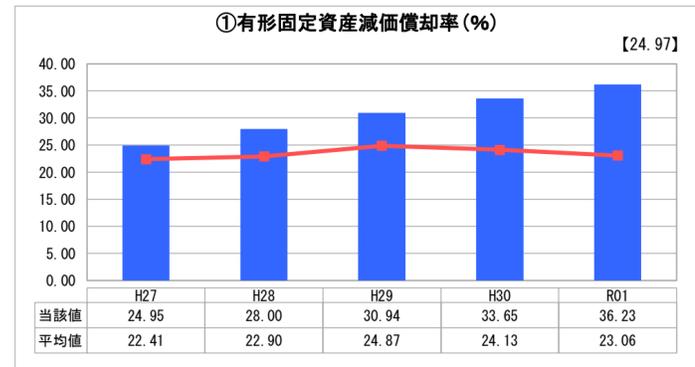
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 40,348 | 157.55 | 256.10 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 3,099 | 1.07 | 2,896.26 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和元年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は類似団体及び全国平均を下回っているが、100%を超えている。下水道事業全体で進めている処理場統合整備事業による公共下水道区域への編入を行い、事業運営の効率化を図る。
 ②累積欠損金比率は類似団体及び全国平均よりも高い。安定した使用料収入を確保するとともに、下水道事業全体で進めている処理場統合整備事業による効率化を図ることで赤字を解消していく。
 ③流動比率は類似団体及び全国平均よりも低い。下水道事業全体で進めている処理場統合整備事業による効率化を図る。
 ④企業債残高は新規事業がないため、減少している。処理場統合整備事業を進める中で、対象施設の償還残高は公共及び特定環境保全公共下水道事業に移行するため、今後は減少していく。
 ⑤経費回収率は類似団体及び全国平均よりも高い。経費削減に努め、さらなる経営の健全化を図る。
 ⑥汚水処理原価は類似団体及び全国平均よりも低い。処理場統合整備事業を進める中で、計画的な投資及び経費削減を行う。
 ⑦施設利用率は類似団体及び全国平均と比較すると低いが、処理場統合整備事業による効率化を図り、適切な規模での施設利用を行う。
 ⑧水洗化率は増加傾向にある。未接続調査による現状把握に努めつつ、水洗化の啓発を行う。

2. 老朽化の状況について

①類似団体及び全国平均よりも高く、資産全体に対する耐用年数を経過した資産の割合は上昇している。
 ②③法定耐用年数を超えた管渠はない。今後の更新需要に備えて、ストックマネジメントを策定し、計画的に改築更新を進めていく。

全体総括

当市下水道ビジョン及び経営戦略に掲げた施策目標「持続」と「リスクの抑制」の達成に向けて、処理場統合整備事業により令和2年度から令和9年度までに7つの処理区を公共及び特定環境保全公共下水道に接続・統合し、事業の効率化を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。